



令和5年二十歳のつどい実行委員
(後列左から)

かみやまかいり ほしの たつ や ましこりゆうせい
上山海璃さん、星野達哉さん、益子龍聖さん

(前列左から)

ますこちほ うすい おおもりさや
増子千穂さん、薄井しおりさん、大森咲弥さん

No.25

今月の人

地域のために活動する人や
団体を紹介します

令和5年二十歳のつどい実行委員の皆さんにお話を伺いました。委員の皆さんは、那須中央、那須中学校の卒業生6人。式典前のアトラクションの企画運営を行うため、10月から準備を進めてきました。

委員を務めた感想は

- ・ あつという間でした。何をするかを考えるのが大変でした。
- ・ 別々の中学で初対面でしたが、一緒に踊ったり、意見交換ができてとても楽しかった。
- ・ ダンスを覚えることが大変でした。アトラクションで使うニュース風の映像も撮影しました。
- ・ スライドショー用に卒業アルバムを持ち寄りました。当時を思い出しながら楽しく作業ができました。

二十歳になって感じることは

- ・ 車を自分で買うなど、責任が両親ではなく自分になることで、自立したと感じました。
- ・ 学生時代より周囲からいろいろと言われることが少なくなりました。自由である反面、自分でやらなければと実感しました。
- ・ 将来について、より考えるようになりまし。一人暮らしをして、家族の大切さや両親への感謝の気持ちが始めてきました。
- ・ 感謝の気持ちを忘れず、今までお世話になった方に恩返しができるよう過ごしたいと思っています。

(関連記事2・3ページ)

・那須文芸

俳句 (2023.2月号)

短歌

◎遊行柳に投句はありませんでした。

初春や余生彩る旅プラン
七日粥お代わりするも身にやさし
老ひてなほ望みを託す初詣
正月や齡重ねの一里塚
よろしくと生きてる証年賀状
山望む終の棲家の初湯かな
新年の筆走らせて山の寺
女の座捨てず組板始かな
あくせくと生きて半寿の初湯かな
ねんごろに健康祈願初明り
福寿草ひと芽こもり土割りて
箏の音の初春の海輝けり
虚空へと群れて飛びたつ初鴉
大鳥居くぐる一步に淑気満つ
言祝ぐや指先ほどの福寿草
初明りむねに日の丸世に未来
初夢や修学旅行の雑魚寝部屋
初景色南南西の筑波山
着膨れて津軽三味線聴く日かな

渡辺 愛子
益子美都里
深沢 千郷
須藤さよ子
杉浦 公子
五月女加代子
大場 芦山
松本 和子
高久 巻江
田部井清子
岡部 慶子
齋藤 照代
小森 静江
平岡 丈子
津田イツ子
大島 昇
仲川 光風
七海 英音
田中 思楼

冬の田に白さぎ一羽遊び下り
みとれし吾れの心静かなる
初詣白き那須山に頭たれ
マスクなしにて大声歌う

竹井 麗州
高畑 和子

※広報那須1月号23ページの短歌に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

右浅間左に富士の雪化粧
朝日に競う冬の通い路

秋山 幹夫

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 2月20日(月)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166

田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13

総務課広報広聴係 ☎72-6901

表紙の話

新時代を切りひらけ！ 二十歳のつどい開催 (1月8日撮影)

今年度20歳を迎える方々は、高校の卒業や大学への入学、あるいは就職などの人生の節目をコロナ禍で迎えました。これらの困難を乗り越え、こうして旧友や恩師との久しぶりの再会に喜び合う姿に、新時代を切りひらく頼もしさを感じました。